

wakayama ai ai

田辺市・橋本市での NPO 出張相談

和歌山県 NPO サポートセンターでは以下の2カ所で毎月1回、NPO 出張相談会を開いています。NPO 法人設立・運営・役員変更・定款変更・認定 NPO 法人等に関する様々なご相談を受け付けています。ご利用は無料ですが、事前に各センターへ団体名・相談内容等をお知らせいただき、予約をお願いします。なお、1件あたりの相談時間は原則として1時間以内です。

田 辺 市

田辺市市民活動センター

- 相談日：原則毎月第2金曜日の10時半～16時
- 場 所：田辺市民総合センター 1F
- 相談予約電話番号：0739-26-9833 (FAX 同番号)
- 対 象：田辺市を中心とした紀南エリアで活動中、または活動しようとする団体

★上記とは別に、オンラインによるご相談、概ね5名以上のグループを対象とした県内出張 NPO 相談も実施しています。お気軽にお問い合わせください。

橋 本 市

橋本市市民活動サポートセンター

- 相談日：原則毎月第2水曜日の10時～16時
- 場 所：橋本市保健福祉センター 2F
- 相談予約電話番号：0736-33-0088 FAX：0736-33-0095
- 対 象：原則として橋本市内に拠点を置き活動中、または活動しようとする団体

和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

■ NPO・ボランティアのための被災地支援講座

長期間、能登半島地震・水害被災地での救援・復旧事業に従事されている講師をお招きし、和歌山でもし同様の災害が発生した時になにが想定され、どういふ備えが必要なのかをともに考えます。

【日 時】9月13日(土) 14:00～16:00

【場 所】和歌山ビッグ愛9階会議室C / ZOOM オンライン

【講 師】前原 土武さん(災害NGO「結」代表)

【参加費】無料

こちらのQRコードからお申し込みいただけます。



■ 連続講座「介護・フレイル予防のために今の健康を知る」(第3回)

「フレイル」と呼ばれる身体的虚弱状態や、介護を必要としない身体づくりのために様々な活動に取り組む NPO 法人等のみなさんや専門家をお招きし、シニア世代の健康づくりについて広く知っていただく講座です。最終回は女性更年期について取り上げます。

【日 時】9月20日(土) 13:30～14:50

【場 所】和歌山ビッグ愛9階会議室A

【講 師】梶本 めぐみさん(関西医科大学総合医療センター)

【参加費】無料

こちらのQRコードからお申し込みいただけます。



■ つながりサポーター養成講座 2025

現在内閣府では、「孤独・孤立」の問題についての知識を身につけ、身の回りの人に関心をもち、できる範囲で困っている人をサポートする「つながりサポーター」の養成に向けた取組が進められています。

昨年度、和歌山県内で初めて開催された「つながりサポーター」養成講座に多くの参加があり、関心の高さがうかがえました。そこで、今年度改めて同じ内容で講座を実施します。人口減少のなか、孤独・孤立の問題はますます大きな課題になるものと思われまます。NPO の活動分野を問わず、みんなで助け合える社会づくりのために、ぜひ受講ください。

【日 時】10月23日(木) 13:30～15:00

【場 所】和歌山ビッグ愛9階会議室C / ZOOM オンライン

【講 師】志場 久起(和歌山県 NPO サポートセンター)

【参加費】無料

こちらのQRコードからお申し込みいただけます。



■ NPO・ボランティア団体の紹介PV公開しませんか

和歌山県 NPO サポートセンターでは、県内の NPO・ボランティア団体を対象に、サポセン YouTube チャンネルでの「活動 PR 動画」の掲載を受け付けています。複数の動画があれば簡単な編集を施して掲載することもできます。

対象となる団体にはご案内チラシをお送りしておりますので、内容等をご確認ください。

NPO に関するご相談は

和歌山県 NPO サポートセンター(県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F)

TEL：073-435-5424 FAX：073-435-5425

メール：info@wakayama-npo.jp URL：https://www.wakayama-npo.jp/

受付時間：火曜日～土曜日 9:00～20:50 日曜日 9:00～17:30

休館日：月曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)

【指定管理者：認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター】

和歌山県環境生活部生活局県民生活課(和歌山県庁本館2F)

TEL：073-441-2053 FAX：073-433-1771

メール：e0313002@pref.wakayama.lg.jp

URL：https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/

【本紙は古紙再生率70%以上の再生紙を使用しています】

和 になろう 県内で市民活動を行う団体や人を紹介します NO.80 一般社団法人 ruam るあむ

2025年4月、様々な事情で実親と暮らすことができない子どもを養育する「ファミリーホーム ruam るあむ」が白浜町に開設されました。県内のファミリーホームは御坊市以北に8カ所ありますが、現在、紀南地方ではこちらが唯一となります。代表の小澤友佳子さんにお話をうかがいました。

ファミリーホームとは

児童養護施設は児童指導員、保育士などの専門資格を持つ職員が交代で勤務することで運営されますが、ファミリーホームは児童福祉法に基づいた里親の認定を受けた「養育者」が生活をともにし、一緒に暮らすことで運営されます。近年、国の方針でも、施設での養育より里親による養育を推進しており、かつてのような数十人で暮らす大規模な施設から、こういった家族単位的で小規模な施設が増えてきています。

ファミリーホームは、里親と同じように自分の家に子どもを迎えて養育するため、児童養護施設よりも家庭的な生活ができるというメリットがあるといわれています。豊かな人間性と社会性を養い、将来に向けて自立した生活を営むための必要な知識、経験を得ることが期待されます。

子どもたちの可能性を広げるために

ファミリーホームは児童相談所からの打診を待って、子どもとホーム側とのマッチングを行い、親御さんの了承を経て、最終的な受け入れを決めます。



代表理事の小澤友佳子さん



子ども部屋 定員に合わせた個室あります

るあむは定員6名で、現在2名の子どもを受け入れ、ともに生活しています。ショートステイの受け入れなど、一時保護や里親の休息支援なども受け付けており、子どもの養育環境の改善を目指します。

ホームの家屋はクラウドファンディングでも資金を募り、改修しました。社会的養護が必要な子どもたちの存在や里親制度、そしてファミリーホームという仕組みを知ってもらうための投げかけやきっかけづくりといった啓発の側面もあって、クラウドファンディングという手法を選んだとのこと。これから形にしていく事業や想いを伝えることに努めての募集でした。SNSでも積極的に発信したことで、応援や共感してくれる人が可視化され、手応えを感じたそうです。今後は、コミュニティスペースや図書コーナーの設置なども予定しています。



キッチン 地域の方が食材を分けてくださることも

出会いと縁を大切に

るあむは、子どもたちにとって安心できる場所であることはもちろんのこと、つながりを生む場所でもありたいと小澤さんは語ります。この場所を拠点に、一緒に暮らす子どもたちだけでなく、同じように支援を必要とする方々と手を取り合いながら、行政や里親支援センターなどの関連施設、地域の方々や支援してくれる方々とつながりを作っていきたいと考えて、ホームの運営、社会的養護を経験した若者たちの自立支援、地域の子育て支援を展開していきます。

一般社団法人 ruam るあむ

https://www.instagram.com/ruam_shirahama/

INDEX

表紙：一般社団法人 ruam るあむ

p.1：特集 団体代表者の後継、どうする？

p.2：新規設立 NPO 法人、助成金&公募情報、お知らせ

p.3：和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

特集 団体代表者の後継、どうする？

NPO 法人の制度ができて 25 年以上が経過し、多くの団体で代表者の交代がみられるようになってきました。和歌山県 NPO サポートセンターに寄せられる相談のなかにも「代表者の後継」に関するものが多くなっています。一般の会社とは異なる非営利組織の「事業承継」の現状はどうなっているのでしょうか。

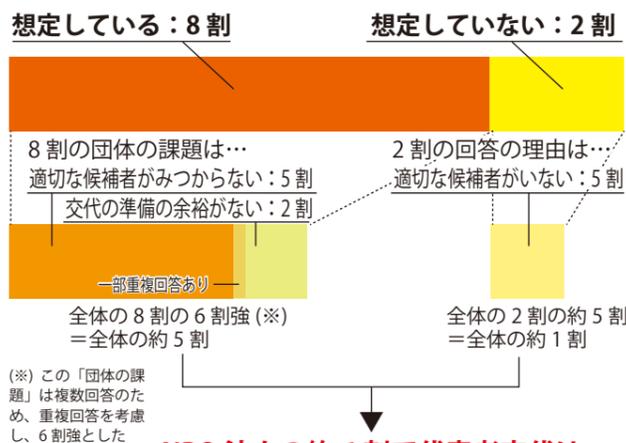
全国調査から

少し古い調査ですが、内閣府が 2018 年度に全国約 3,500 の NPO 法人を対象に実施した「世代交代とサービスの継続性への影響に関する調査」によると、回答のあった法人のうち約 8 割が「代表者の交代を想定している（または交代の可能性がある）」と回答しています。しかし、このうち約 6 割の団体が「交代の準備は進んでいない」としており、その理由を複数回答で聞くと、約 5 割が「適切な候補者がみつからない」、約 2 割が「代表者交代に向けた準備をする余裕がない」と回答。

一方、代表者の交代を想定していない、残り約 2 割の団体にその理由を聞いたところ、「適当な候補者がいない」が約半分あり、これらから、NPO 法人の約 6 割で代表者の交代に向けた動きが円滑には進んでいないことがうかがえます。

■ NPO 法人の代表者交代は困難…？

Q.NPO 法人の代表者の交代は想定しているか？



NPO 法人の約 6 割で代表者交代は円滑には進んでいないとみられる

回答のあった団体の代表者の年齢は 65 歳～ 74 歳が全体の約 4 割を占めているほか、代表者の交代を意識したきっかけを複数回答で聞いたところ、第 1 位が「年齢」で約 75% となっており、第 2 位の「自身の健康状態」(約 26%) を大きく引き離しています。

また設立以来 10 年以上代表を務めているケースも少ないという結果も明らかになっています。

NPO 法人の事業承継が困難な理由

この内閣府調査の結果や、和歌山県 NPO サポートセンターでの相談内容から示唆される、NPO 法人の代表者の

参考：内閣府「特定非営利活動法人における世代交代とサービスの継続性への影響に関する調査」<https://www.npo-homepage.go.jp/toukei/sonota-chousa/2019research-impact-on-generational-change>

交代が困難となる要因として以下の 4 点が想定されます。

① 代表者は長期間活動に従事するなかで多くの実績を有しているほか、団体内の係り関係性・信頼性の構築なども進んでおり、これらの豊富な実績やノウハウは他者には容易に引き継げない可能性があります。

② NPO 法人は、営利事業者である企業のように必ず報酬を受け取れるとは限りません。また収入が不安定という団体もみられます。こうした特性が、後継者の選定を困難にしている側面があると考えられます。

③ 現役世代人口の減少、共働き世帯の増加などにより、地域住民のみなさんが NPO・ボランティア団体の活動に新たに参加しづらくなっており、活動の担い手が相対的に減少する傾向が続いていると考えられます。

④ 代表者の想いや熱意はとても大切ですが、それをそのまま後継者に引き継がせようとすると「いまの代表者のようにはふるまえない」という大きなプレッシャーになり、結果として後継者が現れない・現れづらい結果を生む可能性があります。

代表者交代は団体内で検討を

代表者の交代について和歌山県 NPO サポートセンターで把握している事例でみると、① 計画的に後継者となる人材を育成しているケース、② 代表者がもっていたノウハウを複数人に分担して継承していったケース、③ 初めから数年で代表を交代することを想定し準備したケース、④ 後継者に代表者自身の考え方などはあまり押し付けず、引継ぎ後は後方支援に徹する、などの工夫で比較的スムーズに代表者を交代していったケースがあります。

団体の BCP (事業継続計画) を兼ねて、自団体の 5 年後、10 年後はどうなっているかを想定しつつ、今から手を打てることがないか、検討してみたいかがでしょうか。

■ 現役世代の減少と共働きの状況



新規設立 NPO 法人

◎NPO 法人 動物福祉団体 城下町にゃんこの会和歌山 (和歌山市)
2025 年 6 月 6 日認証 代表者 奥 康子
地域猫、TNR 活動を実施します。

◎NPO 法人 まいらいふ (和歌山市)
2025 年 7 月 22 日認証 代表者 赤尾 寿世
老若男女問わず・障害がある・なしに関わらず、誰もが集え・話し合える穏やかな場所を提供し、人生自分らしくを理念に活動していきたいと思います。まずは、地域の空き土地を生かしてお花畑を作り、地域の方々や遊びに来ている方が少しでも癒される環境を作っていきます。
TEL 073-488-5899 メール npohoujin.mairaiife@gmail.com

このコーナーでは、前号発行以降に NPO 法人の新規設立認証を受けた NPO 法人をご紹介します。

◎NPO 法人 木育ネットワーク (かつらぎ町)
2025 年 7 月 22 日認証 代表者 光永 武史
持続可能な循環型社会を目指す上で、資源としての森林や木材の価値の創造に寄与し、健全な自然環境を取り戻すため、木の良さやその利用の意義を学ぶ木育活動の普及推進の活動を行っています。
メール mokuiku.network@gmail.com

◎NPO 法人 9 番目の雲 (和歌山市)
2025 年 7 月 28 日認証 代表者 阿部 圭子
子ども食堂をはじめ、地域交流の機会を創造します。

助成金 & 公募情報

公園・夢プラン大賞 2025

全国の公園緑地等を舞台に、市民による自由な発想で実施されたイベントや活動、これからやってみたいアイデア・プランを募集し、審査・表彰します。

【応募活動】 「実現した夢」部門…過去 5 年間に公園で実施されたイベントや活動を募集。
「やりたい夢」部門…公園でやってみたい、できたらいいなというプラン、アイデアを募集。

【助成金額】 「実現した夢」部門…最優秀賞は賞状と副賞 10 万円分のギフト券、優秀賞は賞状と副賞 5 万円分のギフト券など
「やりたい夢」部門…最優秀賞は賞状と副賞 5 万円分のギフト券、優秀賞は賞状と副賞 3 万円分のギフト券など

【締め切り】 9 月 26 日 (金)

【主催】 一般財団法人 公園財団
詳しくはウェブサイトをご覧ください。
<https://yumeplan.prj.or.jp/caution.html>

TOYO TIRE グループ環境保護基金

【助成対象】 公益に資する事業を計画している団体で、環境保護・環境保全関連の事業活動を支援。2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日の事業を対象。

【助成金額】 1 団体あたり上限 150 万円

【締め切り】 9 月 30 日 (火) 消印有効

【主催】 公益社団法人日本フィランソロピー協会
詳しくはウェブサイトをご覧ください。
<https://www.philanthropy.or.jp/toyotires/2026/>

2026 年度 日本万国博覧会記念基金 助成事業

1970 年に開催された万国博覧会の収益金の一部を基金とし国際相互理解活動を応援します。

【助成活動】 (1) 国際文化交流、国際親善に寄与する活動
(2) 教育・学術に関する国際的な活動

【助成金額】 助成対象事業費合計額の 3/4 以内かつ、100 万円～500 万円。ただし、学術に関する国際的な活動は 50 万円～500 万円

【募集期間】 9 月 1 日 (月)～9 月 30 日 (火) 消印有効

【主催】 公益財団法人関西・大阪 21 世紀協会
詳しくはウェブサイトをご覧ください。
<https://osaka21.or.jp/jecfund/information/>

お知らせ

被災地生活支援 NPO 登録を受け付けています

和歌山県では、大規模災害発生後に避難所などにおいて、被災された方への生活支援活動を提供できる NPO・ボランティア団体の登録を随時受け付けています。

【活動例】 高齢者、障害者、外国人への支援活動、子育て支援活動、被災された方の心のケア、炊き出しなど

被災後に県または市町村から協力の要請があった場合、要請内容に該当する活動をおこなっている登録団体に情報提供します。可能な場合は構成員を当該地域に派遣していただき、被災された方の生活を支援するものです。

団体の法人格の有無は問いません。新規登録・登録内容の変更等は随時受け付けています。和歌山県 NPO サポートセンターまでお知らせください。

本制度の詳細については以下の URL からご覧いただけます。
https://www.wakayama-npo.jp/hisaichi/his_index.html

【各種情報はメールマガジンでも配信！】

和歌山県 NPO サポートセンターに届くイベント情報や助成金情報等を毎月 1 日・15 日 (休館日等と重なる場合は翌開館日) に発行しているメールマガジンはこちらの QR コードから配信登録ができます。

【NPO データベース登録団体募集中！】

和歌山県 NPO サポートセンターでは、和歌山県内で活動する NPO・ボランティア団体のデータベースを運用しています。データベース掲載で「こんな団体あるかな？」というみなさんからのアクセスが期待できます。ボランティアや寄付金の募集の有無、関わっている SDGs のゴールによる絞り込み検索にも対応。閲覧やデータベースへの新規登録もしくは掲載情報の修正は右の QR コードからアクセスしてください。

サポセン SNS 随時更新中！



Facebook



X (旧 Twitter)



Instagram



メールマガジン配信



データベース閲覧



データベース登録